

矩計図

軒裏

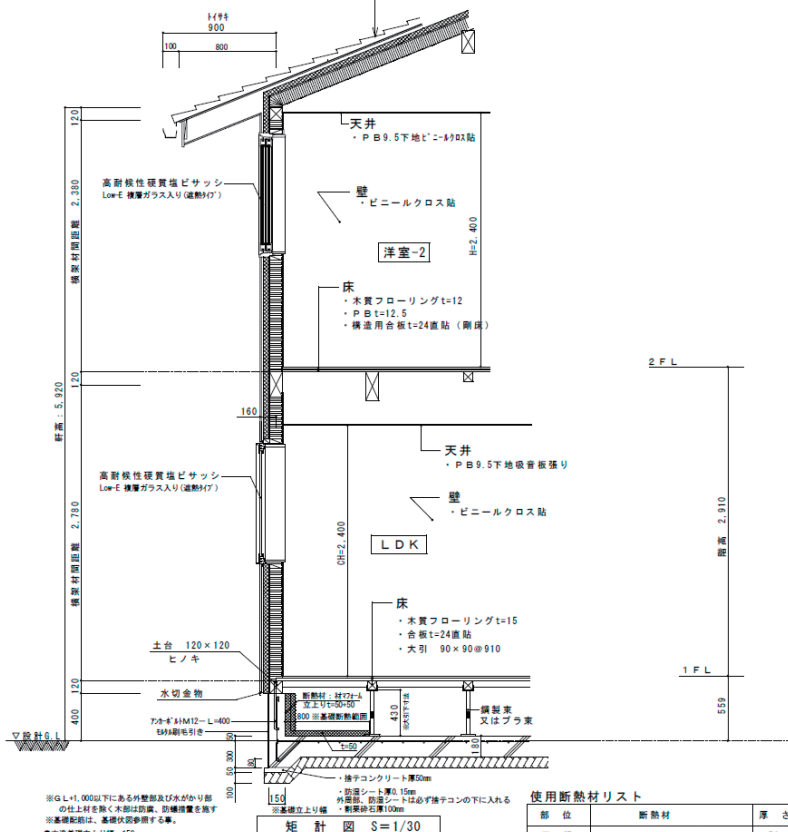
パルプ繊維混入セメント板 $t=12$
不燃材 NM-2010

外壁

- 防火94⁹・12⁹ 防火 λ P00308E-3232-2(2) $t=15$
- 縦筋幅(7)18 (通気層) ヒノキ
- 透湿防水シート
- 断熱材: 材77⁹-4 熱伝導率: $0.020\text{W/m}\cdot\text{K}$ $t=50$
- 構造用パネル材 $t=9.0$ (壁倍率: 2.5倍/4.3倍)
- 断熱材: 9⁹32⁹-8断熱材16K $t=105$
- 透湿可変シート貼 (透湿抵抗 $0.002\text{mPa}\cdot\text{ng}$ 以上)

屋根 (下屋同様)

- 平根瓦葺 (勾配は立面図による)
- 9⁹32⁹-8断熱材16K (高分子 λ -77⁹)
- 上野地板 $t=12$
- 通気層木 45×60
- 断熱材: 材77⁹-4 熱伝導率: $0.020\text{W/m}\cdot\text{K}$ $t=50$
- 断熱材: 材77⁹-4 熱伝導率: $0.020\text{W/m}\cdot\text{K}$ $t=12$
- 断熱材: 9⁹32⁹-8断熱材16K $t=105$
- 透湿可変シート貼 (透湿抵抗 $0.002\text{mPa}\cdot\text{ng}$ 以上)
- 垂木 $45\times 105\text{mm}$ (構造図による)
- 母屋 $105\times 105\text{mm}$ (構造図による)



※G.L.+1.000以下にある外壁断熱及び水切り部の仕上材を無くす場合は、断熱、防湿措置を施す
※基礎配筋は、基礎断面図を参照する。

- 木造基礎立上り幅: 150
- コンクリート呼び強度30N/mm²以上
- 外壁通気層 $t=18$ 以上
- スランブ18cm以下 (水セメント比50%以下)
- 地盤調査・地盤保証を受ける

※使用材種

土台: ヒノキ (120×120)
通柱: ヒノキ120×120
管柱 (外周部): 120×120 (1F⁹・2F⁹)
管柱 (外周部以外): スギ105×105
柱以外の材種: ヒノキ (1階外周部部分)
認定品

コンクリート強度 30N/mm²
(設計基準強度27N/mm²)
品質基準強度30N/mm²

使用断熱材リスト

部位	断熱材	厚さ	熱抵抗
屋根	材77 ⁹ -4 熱伝導率: $0.020\text{W/m}\cdot\text{K}$	50	2.50
	9 ⁹ 32 ⁹ -8断熱材16K 熱伝導率: $0.030\text{W/m}\cdot\text{K}$	105	2.76 合計5.26
外壁	材77 ⁹ -4 熱伝導率: $0.020\text{W/m}\cdot\text{K}$	50	2.50
	9 ⁹ 32 ⁹ -8断熱材16K 熱伝導率: $0.030\text{W/m}\cdot\text{K}$	105	2.76 合計5.26
基礎 (立上り)	材77 ⁹ -4 熱伝導率: $0.020\text{W/m}\cdot\text{K}$	50+50	5.00
基礎 (底部)	材77 ⁹ -4 熱伝導率: $0.020\text{W/m}\cdot\text{K}$	50	2.50